

平成 18 年 11 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社ガーラ
代 表 者 代表取締役社長 廣末 紀之
(コード番号 4777 大証ヘラクレス)
問 合 せ 先 財務経理部長 金城 純子
(TEL 03-5778-0321 (代表))

業績予想の修正（中間業績の見通し）に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 3 月期の中間期連結・個別業績見込みが、前中間期の実績値と比較して、差異が生じる見込みとなりましたので、お知らせいたします。

なお、当社は当中間期に対する業績予想は公表しておりません。

記

- 1 平成 19 年 3 月期の連結中間業績の見通し（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 9 月 30 日）
(単位：百万円，%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 中 間 期 実 績 (A)	245	△46	115
当 中 間 期 見 通 し (B)	493	△216	△212
増 減 額 (B－A)	248	△170	△339
増 減 率 (%)	101.0	△367.5	△293.1
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	599	△127	71

- 2 平成 19 年 3 月期の個別中間業績の見通し（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 9 月 30 日）
(単位：百万円，%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 中 間 期 実 績 (A)	223	△14	147
当 中 間 期 見 通 し (B)	224	△101	△108
増 減 額 (B－A)	0	△86	△256
増 減 率 (%)	0.3	△576.3	△173.8
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	455	△57	105

3 中間業績見込みについて

(1) 中間連結業績

当中間期の連結業績は、前期に開始した新規事業の伸びや、前期に子会社が増加したことにより売上高は前中間期から大きく増加しました。

一方で、新規事業拡大に伴う費用や、子会社費用の増加、さらに、持分法適用会社の取得に伴う持分法投資損失を計上するに至ったこと等により、経常利益、中間純利益は前中間期実績を下回る見込みです。

(2) 中間個別業績

当中間期の個別業績は、新規事業開始準備費用や、子会社の管理費用の増加、さらに、ストック・オプション付与による株式報酬費用の計上等により、経常利益、中間純利益は前中間期実績を下回る見込みです。

4 平成 19 年 3 月期通期業績予想について

当社は通期の業績予想が極めて困難であることから、業績予想の公表を差し控えさせていただいております。

以上